

スマート農業の比較～検討～契約までを簡単爆速に！農業をより魅力的に！『SUMANO』

プロジェクトのビジョン

近年、農業人口の減少に歯止めがかからない状況が続いていることを知り、スマート農業をより普及させて、労働時間の削減・効率アップを実現して農業をより魅力ある職業にし、就農人口を増やしたい。最終的には、日本の食料自給率を底上げし、食糧危機に対する対策を加速させたい。

顧客とその課題

顧客：新規就農希望者及び農家

さまざまなスマート農業ソリューションがあるが何が良いのか、効果がどの程度あるのか、どのくらい費用がかかりどの程度手間が掛かるのかわからず導入に至らない。

顧客：スマート農業ソリューション企業

大規模農家などでは一部導入が進んでいるが多くの中小規模農家の導入はまだまだ手つかずの状態。情報公開は行っているが顧客までリーチできておらずどのような打ち手が良いか試行錯誤している状態。

サービス概要

- ・スマート農業製品をWEBアプリ上で決済することができるECプラットフォームサービスを提供。
- ・スマート農業製品購入を補助するために、ユーザー(新規就農希望者や農家)が地域・経営規模・作付面積・労働条件等をwebサービス上で入力すると、農研機構、JA、各スマート農業サービス企業と提携したそれぞれのデータセットをベースにAIで下記情報を推測してwebサービス上で提案を行う。
- ・**経営効果予測や肥料削減などの試算**
- ・**最適なスマート農業ソリューションの提案**
- ・**対象になる補助金/助成金のアドバイス**

事業展開

2024～検証/開発期間

- ・ 農家・スマート農業企業にインタビュー実施。課題検証を行う。
- ・ 農研機構、北海道農業研究センター、十勝農協連などに共同研究打診、システム開発を行う
- ・ サービス比較、決済機能を持ったサイト作成
- ・ データ収集、データベース作成
分析と提案を行うアルゴリズム構築

2025～サービスローンチ

- ・ スマート農業サービス契約決済機能
- ・ 北海道からサービス提供を初めて各地のJAと連携して普及させる。
- ・ 2025～2026の間にさらにデータを収集
- ・ 各地のJAに購入後の修理等のサポートを打診
- ・ 補助金申請支援システムを構築

2027～事業拡大

- ・ 補助金申請支援システムの搭載
- ・ 九州・関東に顧客を拡大
- ・ スマート農業製品のラインナップ拡大
- ・ 企業向け農業データ提供サービス

収支計画

項目	2025	2029
ユーザー数	5,000	140,000
売上	21M¥	630M¥
利益	-22M¥	510M¥